

食品技術科3年の金井智風さんが、県高校春季弁論大会で準優勝に輝きました。

5月29日（日曜日）、県高校春季弁論大会が、県立水海道第一高校で開催されました。本校の食品技術科3年の金井智風さんが「個性と呼ばないで」という演題で発表し、準優勝（県議会議長賞）に輝きました。

県高校春季弁論大会には、7校が参加し、人権や環境問題、共生社会、異文化理解などのテーマを題材にして、持ち時間7分で、20名が熱弁を振るいました。

金井さんは、今年3月に北京で開催されたパラリンピックのニュースで流れた「障害は個性」という言葉に疑問をもち、自分の経験を踏まえた上で、『障害は個性』と呼ぶことによって、障害を特別視しないということは大切であるが、障害者の支援から目をそらす危険性がある」「障害は障害であり、個性は個性である」と述しました。そして、「多様な価値観を認めることで、誰もが分け隔てなく、共に生活できるような社会を実現していきましょう」と豊かな表現力で訴えました。

金井さんは、8月に東京で開催される全国高校総合文化祭（総文祭）に茨城県代表として出場します。総文祭でのさらなる活躍を期待しています。

食品技術科3年 金井 智風さん



表彰式後に記念撮影

